

日本初、再エネ熱の環境価値を活用した地域還元
「グリーンヒートパートナーシップ」を開始

— 熱エネルギーを通じて地域とのつながりを生み出す新たなモデル —

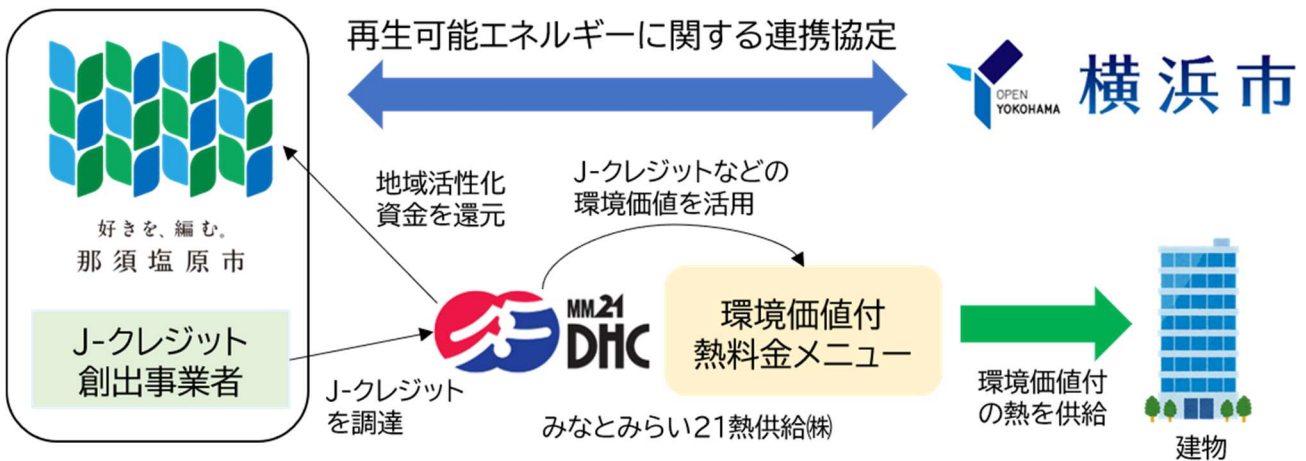
みなとみらい21熱供給株式会社は、日本初となる再生可能熱エネルギー※1由来の環境価値を活用した地域還元の取り組み「グリーンヒートパートナーシップ」を開始します。

本取り組みでは、当社が活用した再エネ熱由来の環境価値に応じて、その創出地域へ地域活性化資金を還元します。これまで十分に活用が進んでいなかった再エネ熱の価値に着目したもので、熱エネルギーを介した地域還元の取り組みとしては、日本初となります。

本取り組みの第一弾として、横浜市と那須塩原市の「再生可能エネルギーに関する連携協定」に基づき、当社は那須塩原市内で創出された再エネ熱由来のJ-クレジット※2を調達し、その調達量に応じた資金を那須塩原市へ還元します。還元された資金は、那須塩原市の脱炭素に関する環境学習で活用される予定です。

当社は、本パートナーシップで調達したJ-クレジットを含め、各種の環境価値を「環境価値付熱料金メニュー」に活用しており、2026年度には、本メニュー全体で約27,000tのCO2削減を見込んでいます。これは、熱エネルギーの脱炭素化として日本最大規模となります。

○グリーンヒートパートナーシップのイメージ



■熱エネルギーを介した地域循環モデルの構築

横浜市における再生可能エネルギーの創出量は限られており、再エネの普及拡大には市域外からの供給が必要不可欠となっています。一方で、再エネの中でも熱エネルギーは、電気に比べて環境価値の流通や活用が進んでおらず、その価値を適切に評価・活用する仕組みの構築が課題となっています。また、再エネを創出する地域においては、再エネ設備と地域社会の共生や地域活力の創出といった課題も存在しています。

本パートナーシップでは、再エネ熱由来の環境価値を活用し、その価値に応じて創出地域へ資金を還元することで、熱エネルギーの脱炭素化を推進するとともに、再エネの普及拡大と地域課題の解決を両立させる持続可能な地域循環モデルの構築を目指します。

※1 太陽熱、バイオマス熱、地中熱など、非化石エネルギー源で自然界に存在する熱エネルギーのこと

※2 省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

■環境価値付熱料金メニューについて

当社は、国の SHK 制度※3 に基づいた「環境価値付熱料金メニュー」の供給を 2025 年 4 月から開始しました。本メニューは、当社で製造した熱に証書やクレジットなどの環境価値を組み合わせることによって、CO2 排出量を実質ゼロ※4 にした熱を供給するものです。

現在、当社が熱供給を行う全 68 件のお客様のうち、30 件のお客様に本メニューをご導入いただいております。これは、当社の販売熱量の約 30%に相当します。

○環境価値付熱料金メニューをご導入いただいたお客様



以上

■みなとみらい 21 熱供給について

みなとみらい 21 熱供給は、みなとみらい 21 中央地区の建物に冷暖房・給湯用の冷水、蒸気を供給する地域冷暖房事業者として 1986 年に設立されました。以来 30 年以上にわたり、街の成長と共に、良質で低廉な熱の安定供給に努めることで、みなとみらいの街を支えてきました。これにより、単一の地域冷暖房エリアとして、日本最大の販売熱量と供給床面積を有しています。

※3 地球温暖化対策の推進に関する法律における「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」のこと

※4 温対法の報告や省エネ法の定期報告書において、調整後排出係数がゼロの熱として、報告に活用することが可能

みなとみらい 21 熱供給株式会社 ◆ 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地45 ◆ Tel. 045-221-0321(代)

横浜市SDGs認証制度

